

### 賀詞交歓会に参加して

令和6年1月5日、西宮商工会議所・西宮納税協会・西宮青年会議所・西宮貿易協会の賀詞交歓会が、ホテルヒューイット甲子園にて開催され、私たち女性会メンバーも参加させて頂きました。

西宮では無事に新年を迎えることができ、心から感謝申し上げます。元旦から能登半島では地震に伴う甚大な被害が発生し、2日には羽田空港での飛行機事故があり、被害を受けられた皆様には、お見舞い申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

ガザ地区やウクライナなどの世界の危機は終息していません。また日本は働き方改革などが目の前の難題で、年始のご挨拶をしながら話題は尽きませんでした。

当女性会は昨年10月に50周年を迎えることができました。西宮市も2025年市制100周年を迎えられますが、女性会も60周年に向けて頑張っています。そしておかげさまで西宮の小中学校の学校給食の食材配送を長くさせていただいております弊社も、当地で創業して今年70周年を迎えました。元氣よく走り回る子供たちとともにこれからも頑張りたいと決意も新たに致しました。

金田運輸株式会社 代表取締役 野村 めぐみ



一番左が筆者

女性会での活動報告で明るい話題が尽きませんでした。併せて、今後の女性会の活動や発信、またそれぞれのお仕事や取り組みのお話しができ、とても有意義な時間となりました。新しい年も明るくパワー溢れる女性会となりそうで、楽しみです。

coordination 株式会社 代表取締役 小林 朗子

お片付けをはじめ、暮らしや地域などコーディネートしています。  
甲南大学、武庫川女子大学非常勤講師

### 女性会50周年記念ラジオ さくら FM「西宮しあわせ物語」

第9回目の放送となる今回は「産学連携」がテーマでした。弊社は施設整備や清掃を通じて総合的なビル管理を行っており、その中で取り組んでいるトライやるウィーク協力と、市内の大学とのイベント企画運営、ベトナムから来ている実習生との国際交流について、お話をさせて頂きました。

ラジオ出演は初めてでしたが、パーソナリティの松本さんの暖かい雰囲気のもと、大関(株)の長部社長と3人で和やかに進みました。

地域に特化した話題をお話できることは、地域コミュニティ放送ならではのことであり、市内事業者の集まりである女性会の1企業として、貴重な体験でした。

これからは、女性会が率先して産官学連携にまで進めればという思いを抱きました。

株式会社双葉化学商会 代表取締役 京藤 光江

第9回の放送では、「産学連携」について監事の(株)双葉化学商会 京藤社長と出演し、パーソナリティの松本様と共に和やかな雰囲気の中お話をさせて頂きました。大関(株)は1711年より今津で酒造りを始め、長年培ってきた醸造技術を基に日本酒だけでなく発酵食品や化粧品等の販売もしていますが、かねてから関西学院大学をはじめ県内外の大学との共同開発や日本酒新興の活動にも取り組み様々な連携をしてきました。学生の皆さんの若い感性に触れることで固定観念にとらわれない新しい発想も生まれ私達もよい刺激を受けています。女性会としては、今後の産業や経済発展には女性の力は不可欠と考え、女子学生のキャリア形成に役立つ企画等も実施できればと思います。

大関株式会社 代表取締役社長 長部 訓子



左から松本さん・京藤・長部

さくら FM  
「西宮しあわせ物語」

毎月第三木曜 12時20分頃から  
「SakuっとLa・ら・Ra西宮」内

### 令和5年忘年会開催



3列目右から3人目が筆者

2023年12月に西宮商工会議所女性会の忘年会が開催されました。

今年度は西宮商工会議所女性会の創立50周年を迎える記念すべき年度となり、「西宮商工会議所女性会50周年記念式典・懇親会」の開催、さくらFMでは女性会プレゼンツ「西宮しあわせ物語」の毎月配信、そして10月の酒ぐらルネサンスと食フェアでは「マダムおでん」が大人気となりました。忘年会ではこれらのたくさんの方

会員募集中

Tel : 0798-33-1258  
西宮商工会議所 女性会担当

ホームページは、こちら  
<https://n-cci.or.jp/joseikai/>



前月と比べたDI値の動き

↗ 改善    → ほぼ横ばい    ↘ 悪化

早期景気観測 業種別の動向  
2023年12月調査結果



建設業	↗	受注が堅調に推移する公共工事の下支えはある一方、資材価格の高止まりによるコスト増の継続や技術者等の高齢化・人手不足が重荷となり、ほぼ横ばい。事業者からは、労務費の上昇に対する価格転嫁に苦慮する声も聞かれた。
製造業	↗	電気代等のエネルギー価格や円安基調による輸入部材の高騰による収益圧迫は継続しているものの、自動車関係や飲食品関係の受注増がけん引し、改善。
卸売業	↗	客足の回復基調が続く飲食・宿泊業からの飲食品関係の引き合い増加により、改善。一部の事業者からは、今後の需要増を見据えて人材採用に注力しているものの、反応が弱く、人材不足による受注機会の損失を懸念する声が聞かれた。
小売業	↘	百貨店ではインバウンド需要の回復等により高付加価値商品の売上が好調なもの、消費者の買い控えが長期化している専門小売店や商店街が全体を押し下げ、悪化。
サービス業	↗	電気代高騰や人件費の上昇等でコスト増が継続する中、インフルエンザ等の感染拡大を危惧する声も聞かれるものの、忘年会等の年末需要で客足が回復する飲食・宿泊業やインバウンド需要回復の恩恵を受ける観光業を中心に、改善。